

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保	挨拶の励行	登館、帰館、下館時、食事の時の挨拶はしっかりとと言えるように職員からの声掛けも積極的に行った。
		衛生管理・手洗い・手指消毒の励行	登館、帰館、外あそび後、食事前の手洗い、手指消毒を徹底した。館内は常時換気をし、昼食は少人数交代制、おやつは一定方向を向いて食べた。
		整理整頓の励行	自分の物は自分で管理するよう、荷物をロッカーに入れるよう声掛けをするが、忘れ物や落とし物が多かった。制作物のロッカーの入れっぱなしが多いので管理の仕方を指導していくことを心がける。
	健康の管理・情緒の安定	遊具の使用法、整理整頓	児童館事業の「あそびの教室」で細かいルールや使い方、注意事項、机の使い方の説明をする。遊具の置き場所を写真表示し、遊具の量も調整し、整理整頓の声掛けもした。複数の遊具を混ぜてあそぶ方法の再検討や、あそぶ場所を明確化する必要がある。
		お弁当いらんDAY	弁当配達業者の弁当を用意することで、保護者の負担を減らし、児童からも好評だった。回数を増やしてほしいとの意見もある。
	基本的生活習慣の確立	登下館の安全指導	年度当初、集団下館にコース別に職員が付き添いながら、安全指導を行った。問題が起きた時は帰りの会などで話をした。また、交通安全教室で交通ルールも学習した。
		出欠確認・行動状況の把握	連絡帳は使用していないが、電話やメール、口頭での連絡、確認の正確性に努め、必ず記録を残すようにしている。連絡のない未帰館児童には必ず保護者に連絡を取り所在確認を徹底した。
	社会生活技術の獲得	心理・健康状態の把握及び対応	体調不良や日々の疲れを訴える児童に対して、保護者と連携して児童の状況を把握し、個別の対応をした。足を伸ばして休める場所がないことが課題である。
		おやつ提供 班活動 学習の習慣作り	年度途中より一者におやつを食べることにしたが、おやつを楽しみにしている児童、おやつを残す児童や、おやつよりもあそびたい児童等ニーズが様々で、おやつの内容も衛生的な観点から個包装になり、おやつを食べる意義が感じられない家庭もある。内容や進め方を検討する必要がある。昼食やおやつのお出し、拭き、掃除機かけを班ごとに担ってもらった。協力して効率よく動けるように児童自身も工夫する姿が見られた。
	子ども育成機能	生活体験の拡大	新入生歓迎会
おたんじょう日会			月ごとに誕生日を祝うことができた。誕生日月の児童のバリエーションは興味を持って聞いていたが、お祝いの歌はあまり歌っていない。
図書館説明・図書館利用			図書館職員からの説明を聞いて、新1年生も児童だけで利用できるようになる。8月までは上級生が付き添い利用し、その後は自分たちで1回30分の時間を守って利用している。過ごせる場を広げ、時間の感覚も身に付けられている。
MSNアベンジャーズ			3年生以上の有志の児童が集まり、この会議の名称から考え、毎回みんなあそびの内容、役割を考えた。意欲的に取り組む姿が見られた。
MSNアベンジャーズ企画			学年別に3日間に分けて行う。出発前にペットボトルに絵を描いて水鉄砲を作り、2年以上は黎明せせらぎ公園に出かけて、草木や小川の等の自然の中であそんだ。1年生は児童館のグラウンドで水あそびをした。
社会性の養成		交通安全教室	警察署の方に来ていただき、クイズ形式で楽しみながら交通ルールを学習した。自転車の乗るルール等もしっかりと教えていただけた。
		FUNAOKASTANDARD	3年ぶりに行われたおまつりに行き、ステージの発表を見たりコーナーあそびをする。限られたお小遣い(200円)をどのコーナーで使うか自分で考えて行動できた。
		防犯教室	「不審者を見た」と言う児童が複数いて、不安に思っている児童もいたので警察署のスクールガードの方の話を聞き、こういう時は大人に助けを呼ぶなど具体的な例を学ぶことができ、不安も軽減された。
		ドッジボール交流	ドッジボール交流に向けての練習も気合が入り、当日は他館の上手な児童にも良い刺激を受けて帰ってきた。
		学年別活動（3年生）夏まつり会議・クリスマス会議	3年生が夏まつりやクリスマス会の内容、役割を話し合い、準備を進めた。まつりや会の当日も張り切って進行をしていた。
自立の促進と自主性の尊重		学年別活動・3年生会議（合同制作）	3年生の修了に向けて、おわかれ遠足の内容を決めたり、合同制作の大型きりえ「甲子園」のきりえやちぎりえの作業をした。
		学年別活動・2年生会議	おわかれ会の内容や役割の話し合いをして、進行の練習をした。当日も滞りなくでき、次年度に繋げることができた。
		学年別活動・1年生会議	1年間を振り返り、楽しかったこと、2年になってがんばりたいこと、をみんなの前で一人ずつ発表できた。
		おわかれ遠足	3年生の遠足の行き先を希望を聞き、ボウリングに行った。参加した児童はボウリング初体験の児童も含めて大いに楽しめたが、欠席児童も多く3年生だけで遠足に行き思い出を作る意味が薄れてしまった。次年度も実施するか検討が必要だ。
		おわかれ会・修了式	1年間の学童クラブの活動の修了をみんなで祝い、それぞれ次年度への気持ちを新たにす。修了式では3年生が一人ずつメッセージを言い、下級生も式を見届けた。3年生で修了する児童が少ない中、修了式の重要性を感じる児童も少なかった。
障がいのある児童の統合育成	様々な特性を持った児童いることを自然と理解できるように、全体や個別に話をしてきた。児童館でトラブルになった時は積極的に介入し、児童の代弁をしたり仲介することで、トラブルの拡大を未然に防ぎ、児童館での理解が深まるように心掛けた。日々の職員小会議で児童の対応等情報の共有もできた。		
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換	おたより「はだしっこ」の発行	毎月の学童クラブの行事予定、前月の活動の様子を載せたお便りを全家庭、所属小学校に配布した。親子で読んでもらえるようにあえてルビは振らずに、また写真も多く載せて活動の雰囲気が伝わるように工夫した。
		保護者懇談会 夏休み説明会	新入会児童を中心に活動の様子を画像で見てもらいながら説明をしたり、年間予定や注意事項を伝えた。 夏休みの生活の注意事項や様子、取り組み内容を説明し、理解と協力を得るようにした。
	子育ての仲間づくり	個人懇談	6月と10月の2回実施。学童クラブ、家庭、学校の様子を伝え合い、保護者の思いを聞くことができ、今後の活動、児童への対応に活かすことができた。
		登録申請説明会	新たに導入したインターネットでの登録申請の方法の説明をし、また登録を考えている保護者の相談にも応えた。
	子育てを支えるネットワーク形成	入会説明会	学童クラブの生活、活動注意事項、保護者連絡用アプリの説明をする。個別の相談にも応じ入会に際しての不安や心配解消にもなった。鳳徳分室の概要や現状課題点を説明し、今後の方針も伝えた。
		小学校、他機関との連携	小学校の担任や、他機関の相談員とのカンファレンスも設けて、児童の様子、学校での対応、保護者の思いの共通理解に努め、今後の児童対応に活かすことができた。

